

文芸

漢字にはふりがなを記入し、種類（短歌・俳句・狂言）ごとに投稿してください。  
同じ句は広報紙以外に投稿（重複投稿）しないでください。

投稿は投稿者の住所、電話番号を記入し、  
役場広報係まで。締切は毎月15日（必着）です。

短歌

末武 有二 選

虫の声心地よい風頬なでる二人手を取り介護  
の散歩 古閑 井上てつ子  
盆提灯母を偲びて火を灯し家紋守った生涯  
語る 木山 本田 龍子  
川遠しここでと詫びて門前で精霊送り星仰  
ぎ見る 安永 川野 光子  
楚々と咲く秋明菊と杜鵑草秋の風情を手向け  
る朝 安永 守住 孝子  
戦争と地震コロナ禍体験し生きてる証し墓前  
で話す 宮園 今吉マキ子  
恐れいし台風過ぎて安堵なる夕暮れに聞く虫  
の音涼し 惣領 島田 廣子  
経験をした事もなきメガ台風備えて窓にテ  
プ貼りゆく 広崎 松原まゆみ  
台風風も夜には治まりて九州みんなの安堵  
が見ゆる 宮園 金子フム子  
母言った茶道の稽古始めたら静謐だった昭和  
回顧す 赤井 鈴木 駒  
田んぼ道稲穂は垂れて朝露は光り輝き刈り入  
れを待つ 広崎 日野ヒロ子  
猛暑日は花も日陰を好んでる狭庭の鶏頭うな  
だれている 宮園 島 みつき

俳句

河野 全平 選

スマホにて孫が写した秋が来た  
工事終了トンボ群れ飛び稲実る  
吟ずれば新涼の山應へけり  
炎屋や草地にミミズ干からびぬ  
ウイルスに勝たせてくれと月拝む  
大銀杏たわわに青い実を持ってり  
いわし雲マスク外して深呼吸  
ハイビスカス大きく咲けり枕もと  
湧水の広がり揺らし蝉しぐれ  
一句鑑賞  
高懸りたるまゝ残り烏瓜  
宮園 今吉マキ子  
宮園 野口志津子  
古閑 今村 恒心  
広崎 松原まゆみ  
木山 細井ヒロ子  
赤井 鈴木 駒  
惣領 阪口由美子  
木山 山口サツキ  
田原 辻ヶ峰子  
高濱 年尾

川柳

布田川左門 選

「お題」 自由詠  
化粧代気がねしている姥ざくら  
陰の声今が退きどき総理の座  
野党共助新政権にモノ申す  
「お題」 コロナウイルス  
家ごもりコロナと猛暑に怠け癖  
世界中我が物顔の憎いヤツ  
コロナウイルスマスク成金いるらしい  
※参考例  
よーいドン特効薬のレースかな  
赤井の天才  
やぶにらみ  
遠めがね  
ねむりねこ  
天変地異  
黒頭巾

川柳のお題 「秋刀魚」

益城の文化財  
町文化財保護委員会



福田

町指定重要文化財

皆乗寺本堂復旧工事(2)

益城町総合運動公園から田中方面を眺めると、ひととき大きな建物らしきものが見えます。これは、修復工事中の皆乗寺を覆う高さ16・3mの素屋根です。

8月末現在、見事に修復された彫刻類の取り付けや、傾斜の違う屋根が二重になった「しころ屋根」の地下工事が進められています。寺社建築において、外部の柱から突き出た部分に施された龍や獅子、象、麒麟などの彫刻部分を「木鼻」といいます。皆乗寺には、象の木鼻「象鼻」が取り付けられています。「牙」部分は破損していたため修復されていますが、修復の跡がほとんど判別できない見事な細工がなされています。

素屋根の下での工事は今年度中に完了する予定なので、来年4月頃には復旧が進んだ本堂の姿を見られます。